

消防服に内蔵するウェアラブルデバイスを共同開発 ～IoT を活用し消防隊員の安全管理と働き方改革に寄与～

インフォコム株式会社 (東京都渋谷区) は、帝人株式会社 (大阪市北区、社長：鈴木 純) が「消防機能向上への取り組み」の一環として開発した「スマート消防服」に内蔵するセンシングデバイスを同社と共同開発しました。

このデバイスは温度や位置情報などの通信が可能で、火災現場や消防本部などの管理システムに消防隊員のデータをリアルタイムで送信する仕組みを有しています。センシングデバイスから管理システムに送信された消防隊員のデータは収集・解析され、深部体温の予測による熱中症リスク警報の発信など、消防隊員の安全管理に活用されます。

「スマート消防服」は、10月11日から東京ビッグサイトで開催される「危機管理産業展 2017」において、帝人が運営するブース (No. 4A23) に展示されます。



スマート消防服の内ポケットにセンシングデバイス (赤色) を装着する。

災害現場の管理システムにデータ収集し隊員の状況を把握する。

当社は、中期経営計画 (2017年4月から2020年3月) において、「成長の追求」を方針に掲げ、「AI や IoT を活用したビジネス展開」を進めています。これまで、重点事業のヘルスケア事業において非接触型センサーを活用した介護業界向けの見守りサービスを開始したほか、IoT を活用した認知症ケアサポートシステムの開発に取り組みました。今後も AI や IoT などの最新の IT 技術を活用し、関係先との共創を進め、価値ある IT サービスを提供していきます。

以上

<お問合せ先> 広報・IR室 03-6866-3160 pr@infocom.co.jp

※本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。